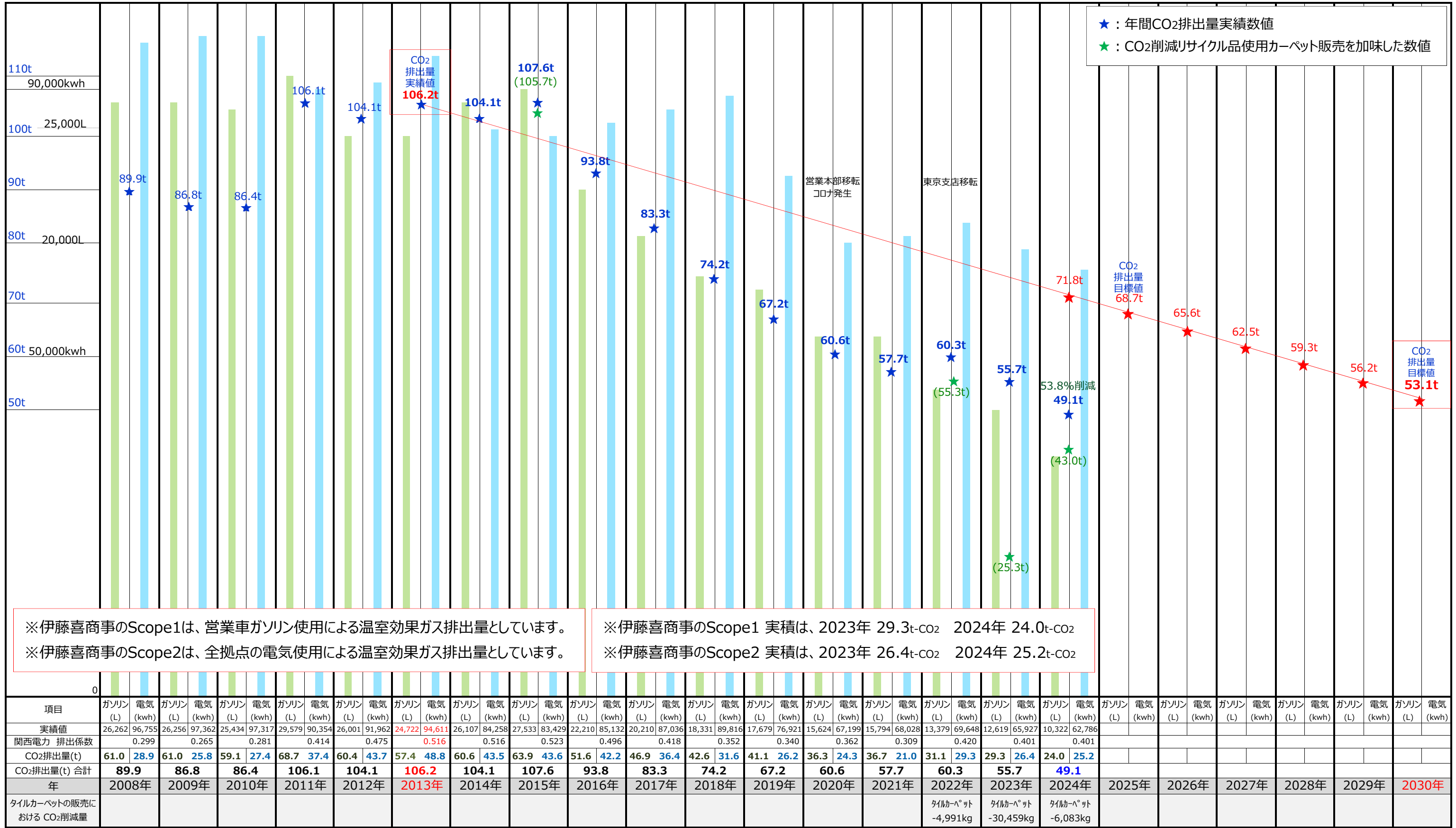


伊藤喜商事 営業車両消費ガソリン+オフィス消費電力による温室効果ガス排出量 2030年までに2013年の **50%削減** 計画兼実績表

2025.03.03



※伊藤喜商事のScope1は、営業車ガソリン使用による温室効果ガス排出量としています。
 ※伊藤喜商事のScope2は、全拠点の電気使用による温室効果ガス排出量としています。

※伊藤喜商事のScope1 実績は、2023年 29.3t-CO2 2024年 24.0t-CO2
 ※伊藤喜商事のScope2 実績は、2023年 26.4t-CO2 2024年 25.2t-CO2

※2015年のパリ協定に基づき、日本政府が公表した温室効果ガス削減目標は、「2030年までに2013年度比46%削減」であった。
 2021年4月にさらに「2030年までに2013年度比50%削減」の高みに向けて挑戦すると発表しました。
 当社も同様に、スコープ1である営業車のガソリン使用とスコープ2であるオフィスでの消費電力をあわせて、「2030年までに2013年度比50%削減」を目指すこととしました。

※消費電力：関西電力(株) 各年CO2排出係数にて算出
 ※2013年の計算根拠
 ガソリン：使用量24,722L×2.322kg=57,404,484kg =CO2排出量 **57.4 t**
 消費電力：94,611×0.516kg(2013年関西電力CO2削減係数)=48,819,276kg =CO2排出量 **48.8 t**
 Total CO2排出量：**57.4+48.8=106.2t**
 2030年目標数値 温室効果ガス排出量：**106.2t×50%=53.1t**

☆営業活動でのCO2削減貢献量を考慮した数値が()内数値
 ※2022年は、川島織物セルコン リサイクル品でのCO2削減
 ※2023年以降は、カーペット各メーカー リサイクル品でのCO2削減
 ※2024年以降、イトーキのチェアのカーボンオフセットが中止の為、計算外としました